

～ 電解・無機質 ～

Na(ナトリウム)・Cl(クロール)・K(カリウム)・Ca(カルシウム)

血液中のイオン濃度を測定し、そのバランスを調べる検査です。
電解質とは、体内の水分に溶けているミネラルのイオンのことで、電気を通す性質を持っています。
電解質は食べ物から体内に取り入れられ、水分調節や神経刺激の伝達、筋肉の収縮など、人間が生きていくうえで重要な役割を担っています。健康な状態の時はそれぞれのイオンがバランスよく一定の濃度を保っていますが、病気などでこのバランスが崩れると濃度に変化が起きます。

考えられる疾患・受診科

Na高値:脱水症状、クッシング症候群
Na低値:腎不全、ネフローゼ症候群
Cl高値:脱水症状、クッシング症候群
Cl低値:水分過剰摂取、アジソン病
K高値:腎不全、大量の輸血
K低値:アルドステロン症、利尿剤の服用
Ca高値:悪性腫瘍、多発性骨髄腫、副甲状腺機能亢進症
Ca低値:腎不全、ビタミンD欠乏症、副甲状腺機能低下症
《内科》

Fe(鉄)

低値の場合、貧血の症状が現れます。

考えられる疾患・受診科

高値:再生不良性貧血
低値:鉄欠乏性貧血、慢性炎症、感染症、急性肝炎
《血液内科、内科》

Zn(亜鉛)

低値の場合、皮膚炎や味覚障害などの症状が現れます。

考えられる疾患・受診科

高値:溶血性貧血
低値:亜鉛欠乏症、鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血、潰瘍性大腸炎、ネフローゼ症候群
《内科》